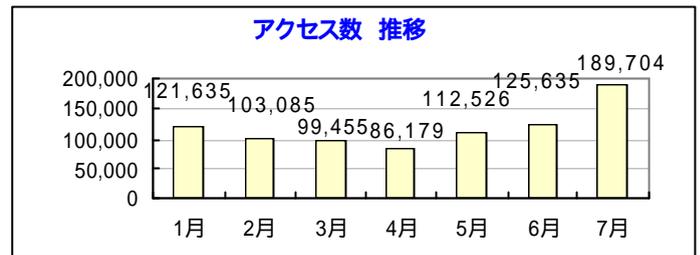


焼酎紀行アクセス数

8/1～8/16までのアクセス数は **91,407 ページビュー**でした。

たくさんのご訪問ありがとうございました。



インターネットによる焼酎フェスタ終わる

7月1日より8月16日までこのホームページ上で開催していました「焼酎フェスタ2004」が、幕を閉じました。

「本格焼酎について真剣に考えてみました」をメインテーマに、最新の焼酎事情や本格焼酎の魅力をどーんと皆様にお伝えしました。

楽しんでもらえたでしょうか？

また、今回は1300本の焼酎のプレゼント企画を準備致しましたが、たくさんのご応募ありがとうございました。ただ今当選者を厳選している最中ですので、もう少しお待ち下さいね。



焼酎フェスタは、2001年、2002年に引き続き

今回は3回目の開催でした。期間中は多くのアクセスを頂き、皆様の関心の高さが伺え嬉しく思います。ご自分の舌で様々な焼酎を試され、「自分の好きな一本」を見つけ出して欲しいと思います。

これからも焼酎紀行ホームページは、皆様に役立つ焼酎の情報を提供していきたいと思ひます。未永く宜しくお願い致します！！

「焼酎フェスタ2004」は、プレゼントの応募、美ラベルコンクールへの投票を除き焼酎紀行ホームページより見ることができます。

トモちゃんコラム ～第二次焼酎ブームが到来～

国税庁によりますと、2003年の国産の焼酎乙類の課税移出数量は、44万7786k1(248万2530石)となり、前年比15.9%の伸びを示しました。ここ5年間、焼酎乙類は年々確実に需要が伸びていますが、2ケタの伸びを記録したのは2003年が初めてです。今年も、前年より需要が伸びることは確実であり、まさに「焼酎ブーム」と言われる所以がこの数字にも表れています。

ところで、第一次焼酎ブームは、昭和50年代後半から始まったもので、飲みやすい甲類焼酎と麦焼酎が中心でした。一方今回の第二次焼酎ブームの中心は、芋焼酎。これまで、独特の香りや味が敬遠されていた節もありましたが、それが逆に受け入れられるようになったり、技術の進歩によって飲みやすいものに改良された事が芋焼酎愛飲者を増大させた理由でもあります。また、「今、売れている」「体に良い」等で、マスコミで多く取り上げられるようになった事も一因と言えるでしょう。

第二次焼酎ブームはいつまで続くのでしょうか？ブームではなく、焼酎がずっと人々に愛され続けるお酒になればと思います。焼酎メーカー様にも、これからも変わらず良質なものを提供して欲しいですね。

焼酎紀行HP更新情報

焼酎に合う料理

焼酎 魚 SASUKE様(福岡市中央区)より「水菜と大根のシャキシャキサラダ」、「ゴボーススティック」をご紹介します。

どちらも野菜料理で、比較的ヘルシーなのが嬉しいですね。シャキシャキとしたサラダ、サクサクとしたゴボーススティック、噛めばそんな音が聞こえるかのようです。

焼酎が飲める店「焼酎バー 乙」様

木の暖かいぬくもりがする座敷と、ほんわかした赤い照明が訪れるものを温かく迎えてくれる「焼酎バー 乙」様(福岡市中央区)。焼酎は常時、約130～140種類取り揃えており、その6割を芋焼酎が占めています。落ち着いた親しい仲間と酌み交わしたい！そんな望みを叶えてくれるお店です。

今月のこだわり焼酎 ～光酒造「麦酔」～

光酒造様(福岡県)より麦焼酎「麦酔」が新発売されました。

熟成酒のようなまろやかさとふくよかな吟醸香をお楽しみください。



プレゼント焼酎 「山の香」

富安本家酒造様(福岡県)よりしそ焼酎「山の香」を20名様にプレゼント致します。しその爽やかな香りが特徴の本格焼酎です。

お酒は20歳になってから適量を！

ヤマエ久野株式会社